

[平成19年 第1回定例会]-[02月19日-02号]-P. 46

◎20番(青山圭一) おはようございます。総務委員会に付託となりました議案第53号、平成18年度川崎市一般会計補正予算であります。委員会における審査の経過並びに結果を御報告申し上げます。(資料編5ページ参照)

委員会では委員から、国庫負担金及び補助金の具体的な内容について質疑があり、理事者から、国庫負担金及び補助金の具体的な内容については、教育費国庫負担金及び補助金として、土橋小学校の校舎等の取得及び義務教育施設の耐震補強事業に対し交付を受けるものである。なお、今回の国庫負担金及び補助金は、国からの予算の追加に伴うものであるが、本市からの要望等により前倒しで交付を受けるとの答弁がありました。

次に委員から、国庫補助を前倒しで受けることによる土橋小学校校舎等の取得に係る財政効果について質疑があり、理事者から、土橋小学校の校舎等の取得については、財政負担の平準化の観点から平成22年度の取得を予定していたが、今回の予算措置により、校舎等の取得に係る金利負担などを含め、一般財源ベースで約5億6,000万円の取得費削減効果を見込んでいるとの答弁がありました。

次に委員から、学校施設の耐震補強の内容について質疑があり、理事者から、学校施設の耐震補強については、平成20年度完了を予定しているが、今回の新たな予算措置により、平成19年度予定していた市内学校施設の19校23棟分の耐震補強工事を実施するものである。また、今後予算措置が必要となる学校施設は7校7棟になるとの答弁がありました。委員会では、審査の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、総務委員会の報告を終わります。(拍手)